

教育委員会資料  
令和5年5月 日  
生涯学習課

## イベントスペースにて実施する工都展について

### 1 趣 旨

工都展は、令和3年から3カ年の計画でおこなっている、板橋区史跡公園（仮称）の整備公開事業の1つに位置づけられている。令和4年度の工都展では、「印刷業-伝えると残す-」をテーマに開催した。

大正12年（1923）に発生した関東大震災後に帝都復興計画の中で志村地域が工業地域内甲種特別地区に指定され、志村地域の工業化が進んでいく。こうして、凸版印刷をはじめとする多くの企業が志村地域へ移転してきた。凸版印刷は、昭和12年（1937）に志村へ2万坪の土地を購入し、翌13年から工場の操業を開始し、都内でも最大規模の印刷工場が稼働してきた。

こうした凸版印刷を中心とした印刷業の歴史を紹介することで、関東大震災を契機とした区内産業の変化や動向を伺うことができる。展示で紹介する“印刷物”は、伝えることと残すことを意図して作成されたものである。広告やポスターは情報を伝える手段であると同時に、残ることで世相そのものを映す鏡の役割を果たしてきた。現在の印刷業では、情報を素早く伝えることに加え、印刷業で培った色の管理技術と高精細な画像処理技術を生かし、モノをデジタル・アーカイブ化によって残すことに重きが置かれている。このように、印刷物が持つ、伝える・残すという役割がこれからも引き継がれていくことを紹介した。

本展については非常に好評を博したことから、パネルや造作物を再利用し、区役所1回のイベントスペースにおいて展示する。

### 2 展示会期

会期：令和5年5月22日（月）～26日（金）

会場：板橋区役所1階 イベントスペース

### 3 展示シナリオ

#### 1 章 工都の素地

志村土地区画整理組、凸版印刷志村工場の移転、印刷産業と軍需産業

#### 2 章 凸版印刷板橋工場

凸版印刷板橋工場、シャーマンルーム、藤田嗣治と板橋

#### 3 章 新しい「伝える」と「残す」

デジタルアーカイブ

番外編 日本大学生産工学部との共同研究2022

## 5 中央図書館における展示の様子（令和5年1月16日～30日）



展示スペースの様子



展示スペースの様子



展示スペースの様子



展示スペースの様子



展示スペース（模型）の様子



展示スペース（参考図書コーナー）の様子



展示関連映像の様子



展示見学の様子